2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月16日

上 場 会 社 名	株式会社キューブ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7112	URL	http://www.cube-co.com/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役会長兼社長	(氏名)	松村　智明
問合せ先責任者	(役職名) 取締役CFO	(氏名)	福岡　裕太　(TEL) 03-6427-0791
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,339	△7.4	△123	―	△111	―	△97	―
2025年12月期第３四半期	3,604	1.0	17	△88.9	21	△86.0	1	△98.0

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△15.99	―
2025年12月期第３四半期	0.30	―

(注)前第３四半期累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、また、当第３四半期累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,626	3,944	85.3
2025年12月期	4,611	4,042	87.7

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　3,944百万円　2025年12月期　4,042百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,414	△9.2	△171	―	△158	―	△138	―	△22.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有
業績予想の修正につきましては、2026年11月16日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	6,139,647株	2025年12月期	6,139,647株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	15,781株	2025年12月期	29株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	6,128,777株	2025年12月期３Ｑ	6,106,366株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「（３）業績予想などの将来予測情報に関する情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
第３四半期累計期間 …… 7
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第３四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や賃上げ等の改善が進む一方、米国の通商政策を含めた不安定な海外情勢と原材料価格等の高止まりが続いており、国内景気も弱含んだ状態が継続しております。

当社の属する衣料品販売業界においても、原材料費、物流費、電力料の高騰等、厳しい経営環境が続き、また、物価の上昇等から慎重な購買行動が続いている状況にあります。

このような環境の中、当社はオンライン・オフラインの双方から、国内外における販売強化に努めてまいりました。

これらの結果として、当第３四半期累計期間における売上高は3,339,045千円（前年同期比7.4％減）となり、営業損失は123,022千円（前年同期は営業利益17,025千円）、経常損失は111,767千円（前年同期は経常利益21,303千円）、四半期純損失は97,982千円（前年同期は四半期純利益1,843千円）となりました。

なお、当社は衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

特に重要な指標の内容は以下のとおりであります。

(売上高)

当第３四半期累計期間の売上高は、3,339,045千円（前年同期比7.4％減）となりました。前事業年度に引き続き、デジタル化の推進と海外展開の拡大に向けて、オフライン・オンラインの販売チャネルの融合、新規店舗の出店も含めた集客・販売力の強化を図り、国内リテール、国内EC、及び海外ECにおいて売上の拡大に努めております。また、韓国卸、中国卸、海外卸、及び国内卸の各卸においても、特に海外卸における新規取引先の獲得等を進め、売上の拡大を図っております。

前第３四半期累計期間及び当第３四半期累計期間の事業区分別の内訳は、次のとおりであります。

相手先	第32期事業年度 第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）		第33期事業年度 第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）	
	金額(千円)	割合(％)	金額(千円)	割合(％)
国内リテール	1,429,265	39.7	1,595,372	47.8
国内EC	601,054	16.7	537,661	16.1
海外EC	77,004	2.1	63,527	1.9
韓国卸	1,097,085	30.4	758,570	22.7
中国卸	76,239	2.1	93,379	2.8
海外卸	116,509	3.2	92,362	2.8
国内卸	200,877	5.6	167,964	5.0
その他	6,617	0.2	30,207	0.9

(売上総利益及び営業利益)

当第３四半期累計期間の売上原価は、1,217,736千円（前年同期比16.6％減）となりました。商品の原価目標を設定し、売上原価率の低減を徹底した結果、当第３四半期累計期間は売上原価率36.5％となっております。この結果、当第３四半期累計期間の売上総利益は2,121,308千円（前年同期比1.0％減）となり、売上総利益率は63.5％となっております。また、当第３四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、2,244,331千円（前年同

期比5.5%増）となりました。中長期的な成長に向け投資を行う中で、業容拡大に向け全社で人材採用を強化した結果として採用活動経費等の業務委託費用、給料手当が増加し、新規店舗の出店に伴い地代家賃及び減価償却費等が増加傾向にあります。この結果、当第３四半期累計期間の営業損失は123,022千円（前年同期は営業利益17,025千円）となりました。

また、上記指標の計画達成に向けて、事業運営上重要と考えている重要指標として、今後の事業拡大の主たる部分について、海外売上高、及びEC売上高を含むD2C売上高の増加を想定していることから、海外売上高比率、D2C比率及びEC化率の上昇に取り組んでおりますが、前第３四半期累計期間及び当第３四半期累計期間の状況は以下のとおりであります。

	第32期事業年度 第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	第33期事業年度 第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
海外売上高比率(%)	37.9	30.2
D2C比率(%)	58.5	65.8
EC化率(%)	18.8	18.0

（注）１．海外売上高比率＝(海外EC売上高＋韓国卸売上高＋中国卸売上高＋海外卸売上高)÷売上高
２．D2C比率＝(国内リテール売上高＋国内EC売上高＋海外EC売上高)÷売上高
３．EC化率＝(国内EC売上高＋海外EC売上高)÷売上高

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期会計期間末の資産合計は4,626,246千円となり、前事業年度末に比べ14,757千円(0.3%)増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ13,448千円(0.4%)増加し、3,272,125千円となりました。これは主に、下半期シーズン向けの商品仕入が増加したことに伴い、商品が332,856千円(73.4%)増加、また、決算月における下半期シーズン向けの商品出荷が増加していることに伴い、受取手形及び売掛金が139,783千円(30.1%)増加した一方で、下半期シーズン向けの商品仕入に係る支払が増加していること等により、現金及び預金が505,749千円(24.0%)減少したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ1,308千円(0.1%)増加し、1,354,121千円となりました。これは主に、基幹システムの入替が完了し、稼働を開始したこと等により、ソフトウエアが92,817千円(433.5%)増加した一方で、同様の理由でソフトウェア仮勘定が32,340千円(85.9%)減少、店舗等の固定資産の減価償却費の計上に伴い建物及び構築物が74,025千円(18.4%)減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期会計期間末の負債合計は、681,829千円となり、前事業年度末に比べ112,779千円(19.8%)増加いたしました。

流動負債の残高は、前事業年度末に比べ120,862千円(29.8%)増加し、526,134千円となりました。これは主に、前事業年度末に比べて下半期シーズン向けの仕入が増加したことに伴い、買掛金が149,411千円(164.2%)増加したこと、翌シーズン向け商品の受注代金回収に伴い、契約負債が10,876千円(9.6%)増加したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前事業年度末に比べ8,083千円(4.9%)減少し、155,695千円となりました。これは主に、一年内に期限が到来する資産除去債務が増加したことにより、資産除去債務が4,608千円(3.2%)減少したこと、また従業員の勤務期間の経過に伴い、退職給付引当金が1,526千円(10.3%)増加したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期会計期間末の純資産の残高は、3,944,416千円となり、前事業年度末に比べ98,022千円(2.4%)減少い

たしました。これは、四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、当第３四半期会計期間末における自己資本比率は、85.3%となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年11月16日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第３四半期会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,281	1,605,532
受取手形及び売掛金	464,369	604,153
商品	453,608	786,464
その他	229,569	276,151
貸倒引当金	△151	△176
流動資産合計	3,258,676	3,272,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	402,265	328,239
工具、器具及び備品（純額）	7,342	7,067
有形固定資産合計	409,607	335,306
無形固定資産		
ソフトウエア	21,412	114,229
ソフトウエア仮勘定	37,631	5,291
無形固定資産合計	59,043	119,520
投資その他の資産		
関係会社株式	295,480	295,480
敷金及び保証金	253,118	254,082
破産更生債権等	527	527
繰延税金資産	157,733	181,471
その他	177,829	168,259
貸倒引当金	△527	△527
投資その他の資産合計	884,161	899,293
固定資産合計	1,352,812	1,354,121
資産合計	4,611,489	4,626,246

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第３四半期会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,982	240,394
契約負債	113,854	124,730
商品保証引当金	487	97
賞与引当金	－	12,709
資産除去債務	5,137	15,018
その他	194,808	133,184
流動負債合計	405,271	526,134
固定負債		
退職給付引当金	14,880	16,406
資産除去債務	142,553	137,944
その他	6,345	1,344
固定負債合計	163,778	155,695
負債合計	569,050	681,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	841,303	841,303
資本剰余金	1,561,630	1,561,630
利益剰余金	1,639,530	1,541,548
自己株式	△25	△65
株主資本合計	4,042,438	3,944,416
純資産合計	4,042,438	3,944,416
負債純資産合計	4,611,489	4,626,246

（２）四半期損益計算書

第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,604,656	3,339,045
売上原価	1,460,883	1,217,736
売上総利益	2,143,772	2,121,308
販売費及び一般管理費	2,126,747	2,244,331
営業利益又は営業損失（△）	17,025	△123,022
営業外収益		
受取利息	3,567	7,078
受取補償金	2,502	12,000
その他	1,071	1,134
営業外収益合計	7,141	20,212
営業外費用		
為替差損	2,863	624
譲渡制限付株式関連費用	－	8,333
営業外費用合計	2,863	8,958
経常利益又は経常損失（△）	21,303	△111,767
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	21,303	△111,767
法人税、住民税及び事業税	9,602	9,952
法人税等調整額	9,858	△23,737
法人税等合計	19,460	△13,785
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,843	△97,982

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第３四半期累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

当社は、衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第３四半期累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

当社は、衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	95,430千円	125,280千円